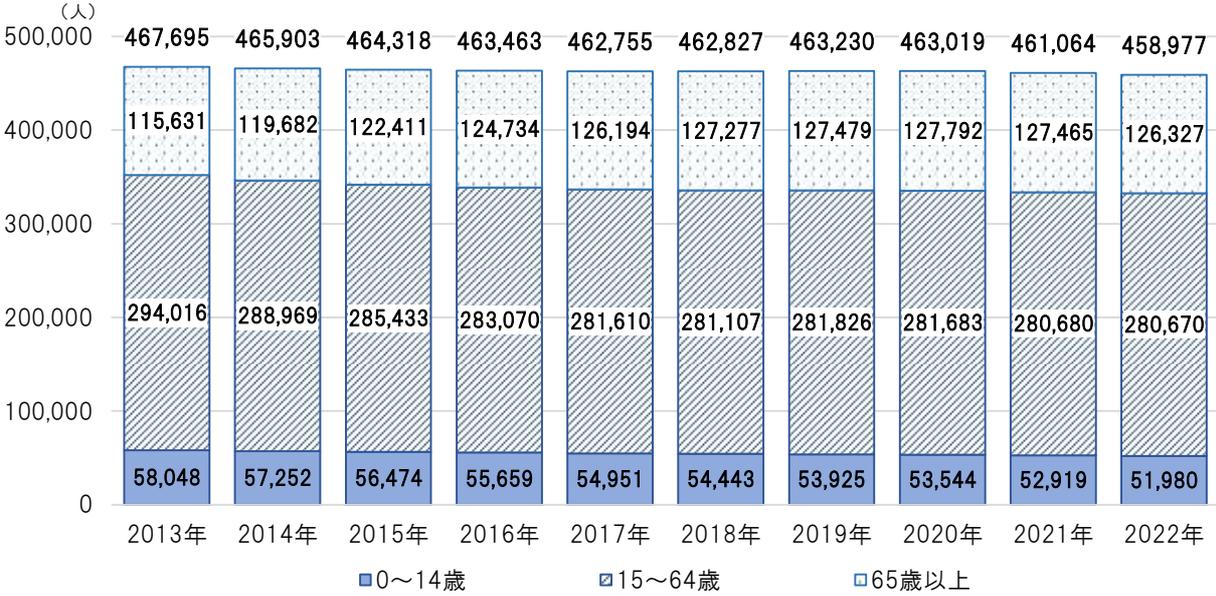


尼崎市における現状

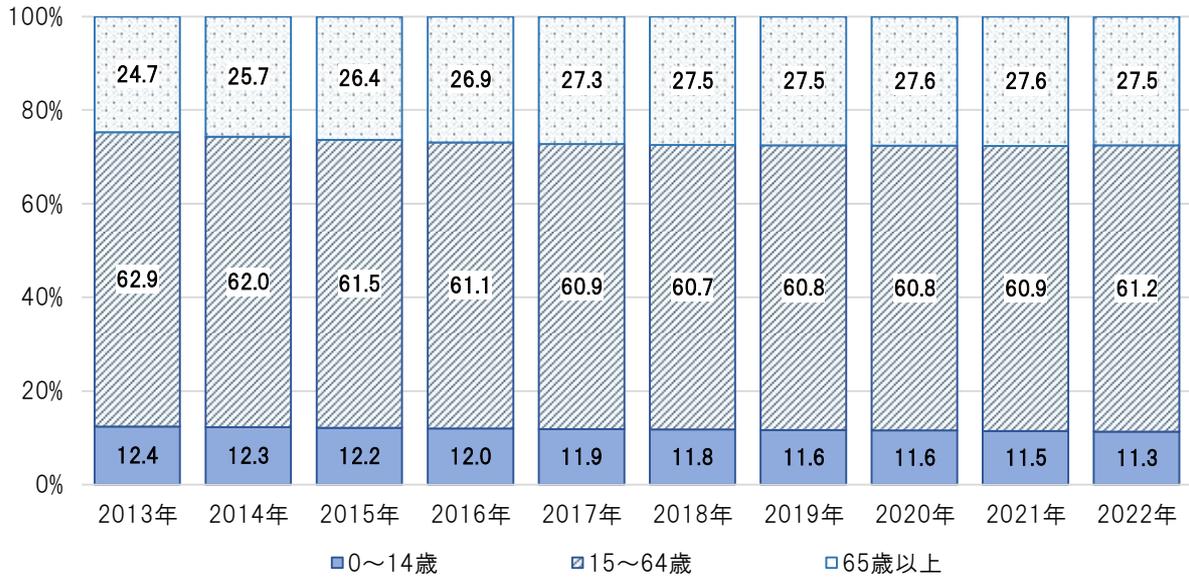
1. 人口

- 総人口は増減を繰り返しながら、2019年以降は緩やかに減少傾向となっています。
- 高齢者数は横ばい傾向となっており、2022年では126,327人、高齢化率（総人口に占める65歳以上高齢者の割合）は27.5%となっています。

《年齢3区分別人口の推移》



《年齢3区分別人口割合の推移》

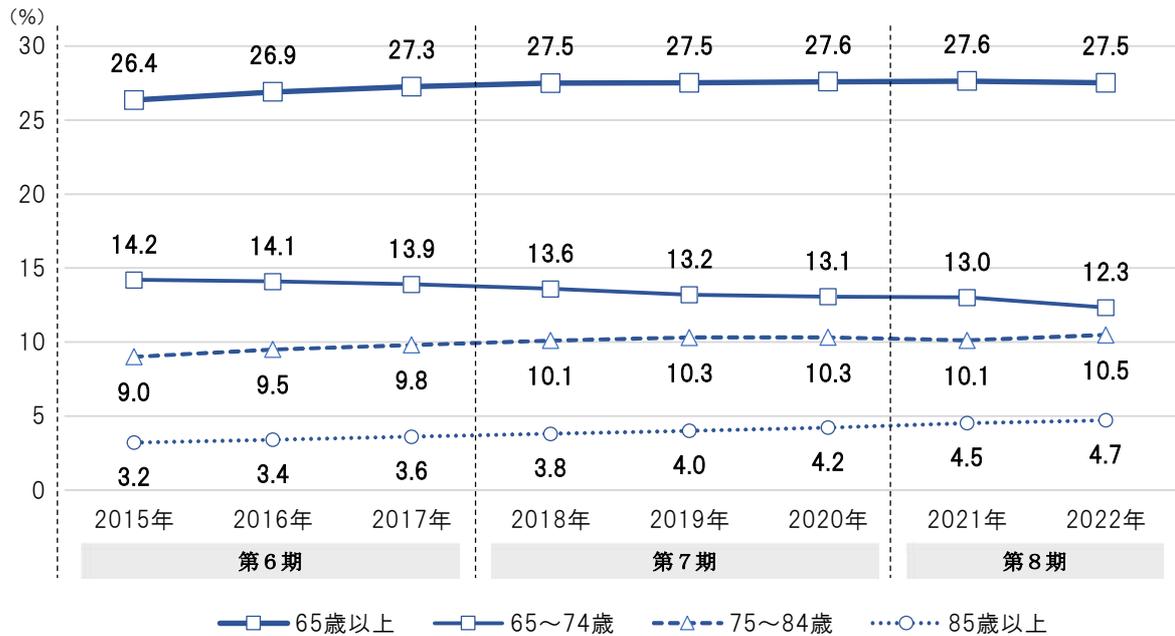


資料：尼崎市「住民基本台帳」（各年9月末現在）

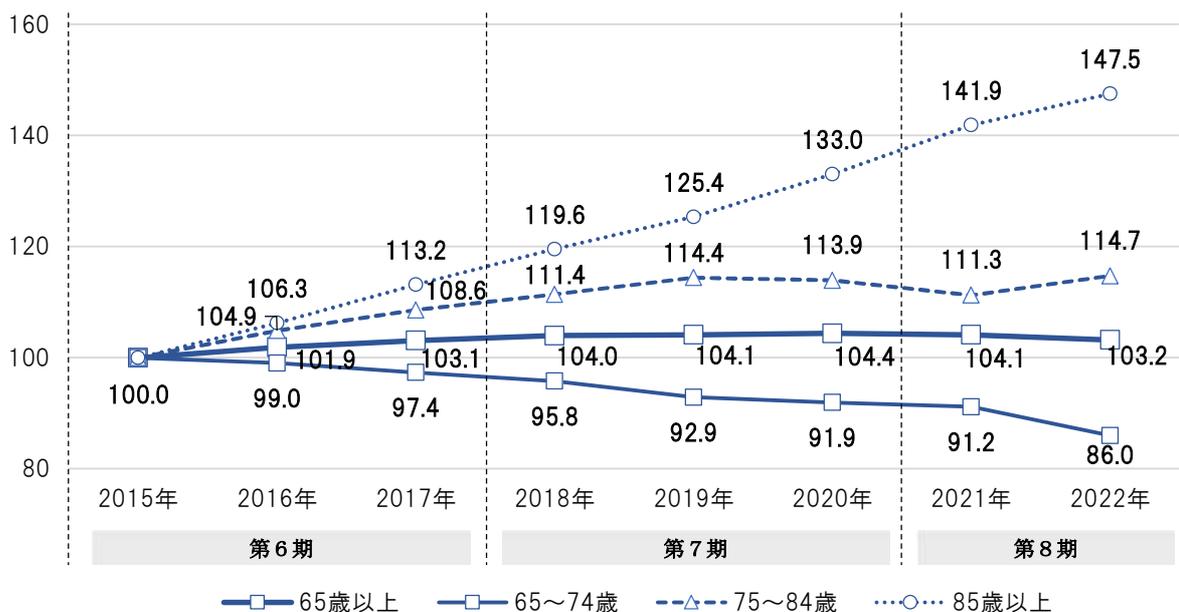
2. 高齢者人口

- 高齢化率は2015年以降、増加傾向となってましたが、2018年以降は横ばい傾向となっています。
また、年齢別にみると、近年では65～74歳の前期高齢者では減少傾向となっているのに対し、75～84歳・85歳以上の後期高齢者では増加傾向となっています。
- 2015年を100.0とした高齢者人口指数をみると、85歳以上の増加が著しく、2022年には2015年の約1.5倍となっています。

《高齢者割合の推移》



《高齢者人口指数（2015年を100.0とした指数）》

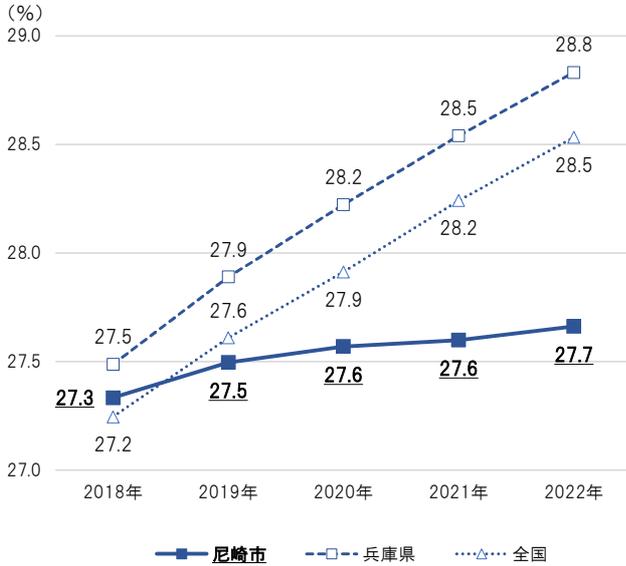


資料：尼崎市「住民基本台帳」（各年9月末現在）

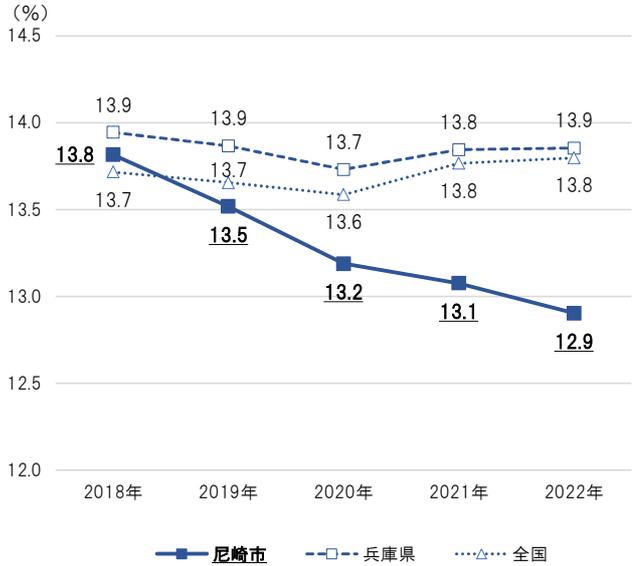
○高齢化率は、2019年以降、全国・兵庫県と比べて低い水準となっています。

○後期高齢者割合は全国・兵庫県と同様の傾向となっているのに対し、前期高齢者割合・85歳以上高齢者割合は低い水準となっています。

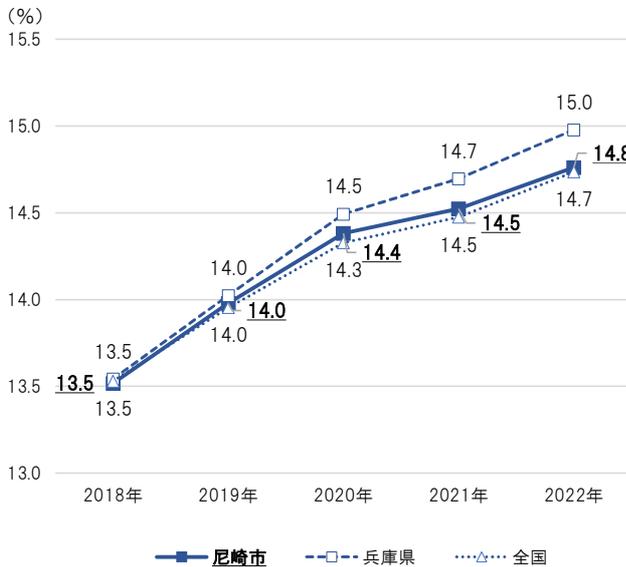
《高齢化率の推移》



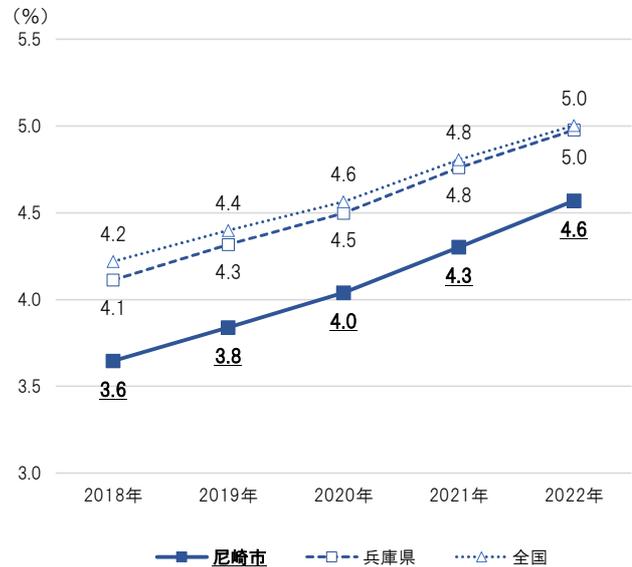
《前期高齢者割合の推移》



《後期高齢者割合の推移》



《85歳以上高齢者割合の推移》



資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（各年1月1日現在）

3. 要支援・要介護認定者

○要支援・要介護認定者数は年々増加しており、2023年3月末には30,608人となっています。

○2023年3月末の認定者のうち、要支援認定者が33.1%、要介護認定者が66.9%となっており、区分としては、要介護1が17.9%で最も多くなっています。

○年齢別にみると、要支援・要介護認定者の約85%が75歳以上の後期高齢者となっています。2023年には、75～84歳が38.3%、85歳以上が48.1%となっています。

《要支援・要介護認定者数（第2号含む）の推移》

	人 数 (人)					構 成 比 (%)				
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
要支援1	5,244	5,175	5,121	5,072	5,047	18.5	17.9	17.6	17.0	16.5
要支援2	4,893	5,069	4,974	4,978	5,093	17.2	17.5	17.0	16.7	16.6
要介護1	4,741	4,834	5,074	5,282	5,489	16.7	16.7	17.4	17.7	17.9
要介護2	4,627	4,782	4,717	4,741	4,808	16.3	16.5	16.2	15.9	15.7
要介護3	3,476	3,527	3,668	3,874	3,942	12.2	12.2	12.6	13.0	12.9
要介護4	3,074	3,150	3,208	3,435	3,677	10.8	10.9	11.0	11.5	12.0
要介護5	2,334	2,445	2,417	2,480	2,552	8.2	8.4	8.3	8.3	8.3
要支援	10,137	10,244	10,095	10,050	10,140	35.7	35.3	34.6	33.7	33.1
要介護	18,252	18,738	19,084	19,812	20,468	64.3	64.7	65.4	66.3	66.9
合 計	28,389	28,982	29,179	29,862	30,608	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

《年齢別要支援・要介護認定者数の推移》

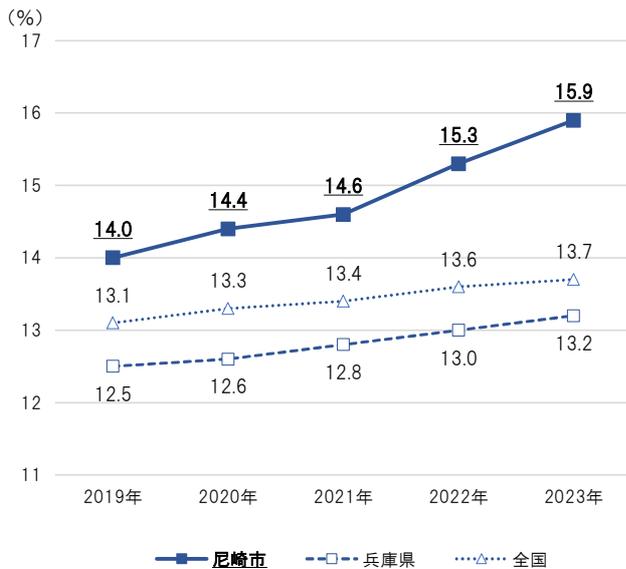
	人 数 (人)					構 成 比 (%)				
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
合 計	28,389	28,982	29,179	29,862	30,608	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
40～64歳	516	524	530	570	571	1.8	1.8	1.8	1.9	1.9
65～74歳	3,834	3,795	3,845	3,865	3,593	13.5	13.1	13.2	12.9	11.7
75歳以上	24,039	24,663	24,804	25,427	26,444	84.7	85.1	85.0	85.1	86.4
75～84歳	11,828	11,832	11,377	11,415	11,736	41.7	40.8	39.0	38.2	38.3
85歳以上	12,211	12,831	13,427	14,012	14,708	43.0	44.3	46.0	46.9	48.1

資料：地域包括ケア「見える化システム」（各年3月末現在）

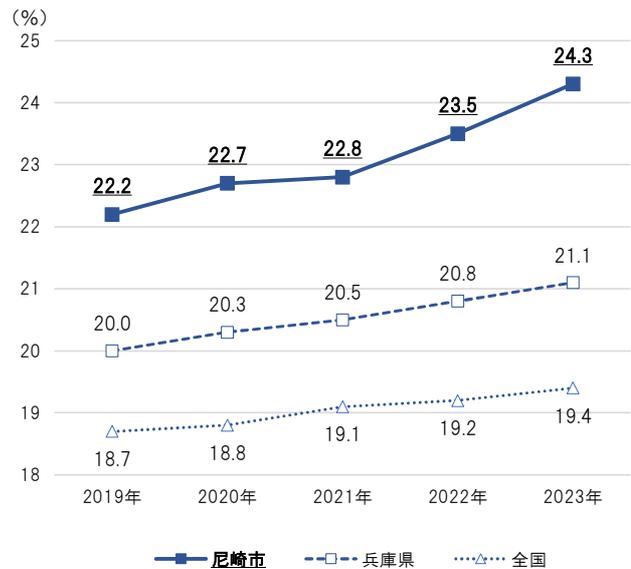
○要支援・要介護認定者数の増加に伴い、要支援・要介護認定率も年々増加しており、2023年3月末には15.9%（第2号を含む認定率は24.3%）となっています。また、全国・兵庫県に比べて高い水準となっています。

○年齢別にみると、65歳以上の認定率は15.9%となっているのに対し、75歳以上になると37.1%、85歳以上になると65.7%となっており、85歳以上の6割以上が認定者となっています。

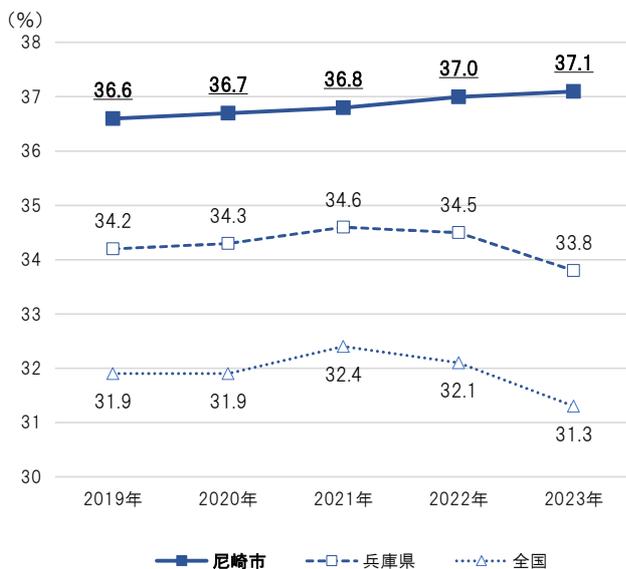
《要支援・要介護認定率の推移》



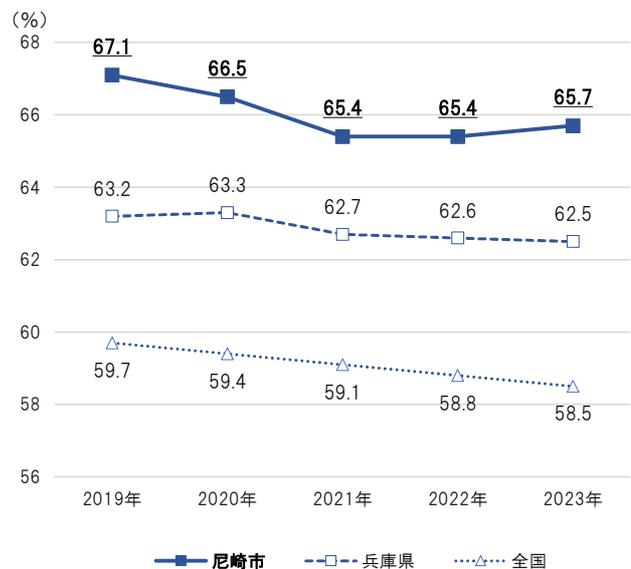
《要支援・要介護認定率（第2号含む）の推移》



《75歳以上の要支援・要介護認定率の推移》



《85歳以上の要支援・要介護認定率の推移》

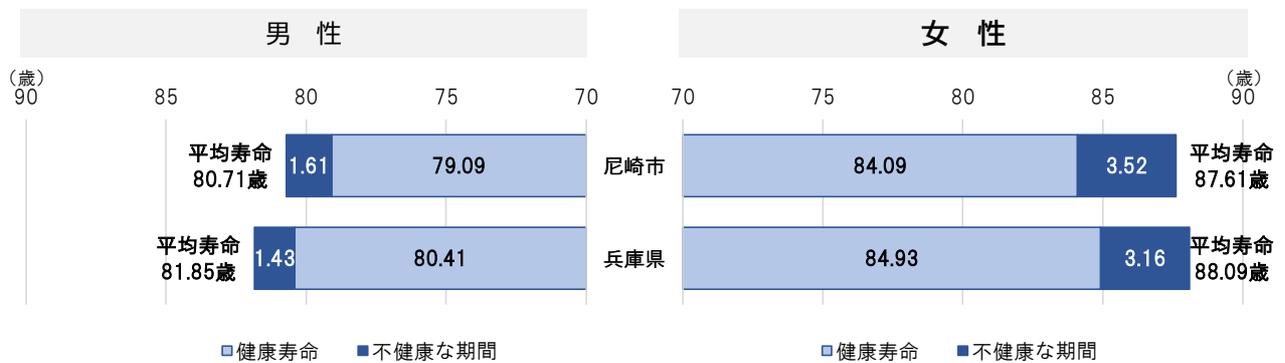


資料：地域包括ケア「見える化システム」（各年3月末現在）

4. 健康寿命（令和2年）

○男性・女性ともに、兵庫県に比べて平均寿命・健康寿命の期間が短い一方で、不健康な期間は長くなっています。

《平均寿命と健康寿命（令和2年）》



※算定については、厚生労働省研究班が公表している「健康寿命の算定方法の指針：健康寿命の算定プログラム」を使用し、健康な状態を「日常生活動作が自立していること」と規定し、介護保険の要介護度の要介護2～5を不健康（要介護）な状態とし、それ以外を健康（自立）な状態としている。

資料：兵庫県「令和2年健康寿命」